

## 院内で使用する外部記録媒体の紛失について

名古屋市立大学病院において、院内で使用する外部記録媒体の紛失が発生したため、以下の内容について公表いたします。

### 記

#### 1 事案の概要（紛失の状況）

- ・令和4年2月10日に脳血管手術を行うため、手術に使用する加工画像を診療科内のパソコンで作成し、USBタイプのSSD（ソリッド・ステート・ドライブ：大容量の記録媒体）へデータを保存し、手術室へ移動しSSDから画像を展開させ手術を行った。
- ・令和4年2月25日早朝に手術を終了し、手術室にて手術動画データを診療科内のパソコンにデータ保存するために、2月10日に使用したSSDへデータを保管した。その後SSDを術着や白衣のポケットへ入れて、病棟やCT検査室に移動した。
- ・3日後の2月28日にSSDを使用しようとしたところ、紛失に気が付いた。手術室や病棟等の立ち寄り先などを検索したが見つからなかった。

※SSD内に入っていたデータ<sup>(注)</sup>

- ①患者1名の脳血管造影画像（画像の端にローマ字で患者氏名が入っている。）
- ②患者3名の手術動画（患者氏名は入っていない。）
- ③患者4名の手術用ナビゲーション画像（専用ソフトのみで閲覧可）

（注）いずれのデータもバックアップを取っており、今後の診療への影響はない。

- ・3月14日に上記①の患者に対し、診療科部長、担当医から説明し謝罪した。

#### 2 再発防止策

- （1）USBタイプの外部記録媒体は、小型であり紛失しやすいため使用しない。
- （2）外部記録媒体内のデータは使用后、速やかに消去するなどの対策を徹底する。
- （3）個人情報管理の重要性について研修会等において、職員への周知徹底を行う。

（名古屋市立大学病院 医学・病院管理部  
事務課長 浅野 郁一（052-858-7104）